

みと・あかつかカンファレンス

差出人: みと・あかつかカンファレンス <admin@kankan2025.jp>
送信日時: 2019年4月8日月曜日 23:09
宛先: 'kenkyuk-ask@amed.go.jp'; 'umemoto@ongene.med.osaka-u.ac.jp';
'ktakeda@ongene.med.osaka-u.ac.jp'; 'medpr@office.med.osaka-u.ac.jp'; 'jbs-
ho@jbsoc.or.jp'
CC: '日本栄養士会'; '日本医師会'; '日本薬剤師会'; '日本歯科医師会'; '日本看護協会'; '日本理学療法
士協会'; '日本作業療法士協会'; '日本社会福祉士会'; '日本介護福祉士会'; '立川 晶'; '朝倉 洋';
'生田 弦己'; '江川 剛正'; '佐藤 仁彦'; '越田 普之'; '平野 有紀'; '大林 広樹'; '茨城県警察本部';
'クローズアップ現代 +'; '湯川 英俊'; '池田 剛士'
件名: 通達（みと・あかつかカンファレンス）*メディア対策室；安倍晋三 首相案件（ムチン騒乱）【信用失墜行
為】#大阪府吹田市

国立大学法人大阪大学 大学院医学系研究科
免疫制御学／免疫学フロンティア研究センター 御中

学術秘書
池田です。

検事総長に指示し、騒乱罪（刑法 106 条）で公訴いたします。



雑誌について

投稿

発行元

ホーム » Vol. 89 - No. 5 » 論文

Journal of Japanese Biochemical Society 89(5): 731-734 (2017)

doi:10.14952/SEIKAGAKU.2017.890731

みにれびゅう

粘膜バリアによる腸内細菌と腸管上皮の分離

奥村 龍

大阪大学大学院医学系研究科免疫制御学 ◇ 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2

発行日：2017年10月25日

HTML

PDF

EPUB3

© 2017 公益社団法人日本生化学会

1. はじめに

GOTO ▾

我々が住む地球上では、至るところに細菌、真菌などの微生物が存在している。それは我々人間にとっても例外ではなく、特に外界に直面する皮膚や、体の内側ではあるが外部環境に曝露されている鼻腔、口腔、消化管、上気道、膈などには微生物が常在し、“微生物叢”を構築している。その中でも、消化管は食物由来の栄養素が豊富に存在し、偏性嫌気性菌を中心に、おびただしい数の微生物が存在している。さらにそれらの腸内微生物は、ただそこに常在しているだけでなく、食物繊維の分解によって産生される短鎖脂肪酸や、葉酸、ビタミンK、ビタミンB類などのビタミンを我々に提供し、我々の健康維持に大きく貢献している。しかしながら、こういった有益な腸内細菌も、ひとたび組織内に侵入すれば免疫システムによって外敵とみなされ排除される。そのため腸内微生物と宿主が互いに干渉せずwin-winの関係を続けていくためには、両者を空間的に分け隔てるメカニズムが必要であり、それを可能にするのが腸管上皮細胞によって構築される“粘膜バリア”である。本稿では、その粘膜バリアが腸内細菌と腸管上皮をどのように分断しているかについて、我々の研究によって明らかになったことを含めて最近の知見を紹介し、その粘膜バリアの破綻により誘導される腸管炎症について述べたい。

<https://seikagaku.jbsoc.or.jp/10.14952/SEIKAGAKU.2017.890731/data/index.html>

理由：

<https://www.kitasato-u.ac.jp/sci/univ/chemistry/news/n20190125.html>

<http://nokyoko.jp/#norioka>

<http://acsec.co.jp/#首謀者>

では。

この件に関するお問い合わせ先：

みと・あかつかカンファレンス事務局長

ラクトース研究班「いもいち 2025」班長代理

有限会社学術秘書

本店営業部

池田剛士

〒311-4141

茨城県水戸市赤塚 1-386-1-107

電話：029-254-7189

携帯：090-4134-7927

追補：訂正報道新着

<http://kankan2025.jp/>